

教えて! 市立病院



〈今月のドクター〉

心臓血管外科
佐藤 洋一 医師

足の動脈（^{へそ}臍の下辺りから足先まで）が動脈硬化で硬く厚くなる病気です。動脈の内腔にゴミが溜まって狭くなり、足の血流が悪くなります。原因は高血圧や糖尿病、高脂血症（悪玉コレステロールや中性脂肪などが高い）、タバコ、肥満などです。これらを放置すると徐々に全身で動脈硬化が進むため、足の動脈が硬く狭くなった患

〈第 85 回〉

下肢閉塞性動脈硬化症

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

者さんは既に心臓や頭の動脈も狭くなっている可能性があります。

足の動脈血流が悪くなると「足が冷たい」→「歩くとふくらはぎが張り、休むと良くなってまた歩ける」→「じっとしていてもふくらはぎや足先が痛い」→「足先の色が黒っぽくなり、^{かいよう}潰瘍や^{そくし}足趾の壊死を認める」というように症状が進行します。足が冷たい又は歩くとふくらはぎが張ってくる段階で治療を開始しないと大事になる可能性があります。

治療は、カテーテルで動脈の中から狭い病変を広げる方法とバイパス手術で新しく血液が通る道を作る方法があります。カテーテル

治療にはステントという網目状の金属の筒やステントグラフトという人工血管に金属の網目が組み込まれているものを使用します。バイパス手術は膝から上の太い動脈には人工血管を使用しますが、膝下の細い動脈には患者さん自身の足の皮下静脈を使用します。足先の方が動脈は細くなり治療は難しくなります。カテーテルもバイパスも出来ない場合には脊髄刺激療法という痛みを和らげて細い動脈を少し広げる治療を行います。

是非、動脈硬化が進まない生活習慣を保ってください。当院では上記の全ての治療ができますので紹介状を持って受診ください。